令和8年度　全国学力・学習状況調査結果【湖北小学校】

本校の6年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果概要と、今後の指導改善に向けた学校の取り組みについてお知らせいたします。

■ 国語

○ 平均正答率を県・全国と比べると、本校は下回っています。

（1）調査結果の詳細 【○よかった内容 ●課題がみられた内容】

＜言葉の特徴や使い方に関する事項（知識・技能）＞ 全国平均より、下回っている。
○ 日常使われる慣用句やことわざの意味の理解。
● 学年別漢字配当表に示されている基本的な漢字を、文脈の中で正しく書くこと。

＜情報の扱い方に関する事項＞ 全国平均と同程度。
○ 文章や資料の構成メモの意図や工夫を捉える問題。
● 複数の資料から必要な情報を抜き出し、条件に合わせて整理・説明すること。

＜話すこと・聞くこと＞ 全国平均より、下回っている。
○ 話し手の工夫や意図を捉えて内容を聞き取ること。
● 相手や目的に合わせて、自分の考えが明確に伝わるよう表現を工夫すること。

＜書くこと＞ 全国平均より、下回っている。
● 集めた情報を基に、条件に沿って自分の考えをまとめること。

＜読むこと＞ 全国平均より、少し下回っている。
○ 文章の特徴を捉えることや、読んだ内容を自分の経験と結び付けて読むこと。
● 叙述を基に登場人物の心情や場面の展開を深く読み味わうこと。

（2）今後の取り組み

・40 分授業の中で「単元全体を見通した指導計画」を立て、タブレットの思考ツールなどを活用して情報を整理し、条件に合わせて筋道を立てて書く活動を計画的に行います。
・給食後の帯の時間「こほくタイム（20 分）」を活用し、学年の実態に応じて漢字の定着に向けたドリル学習や、100 字程度の短い文章を書くトレーニングなどに継続して取り組みます。
・家庭や図書館と連携し、読書活動を推進して多様な言葉や文章に親しむ機会を広げます。

■ 算数

○ 平均正答率を県・全国と比べると、本校は下回っています。

（1）調査結果の詳細 【○よかった内容 ●課題がみられた内容】

<数と計算> 全国平均より、下回っている。
○ 数字カードを並べて最大数をつくるなど、基本的な位取りの理解。
● 異分母の分数の大小を判断し、その理由を数や言葉を用いて説明・記述すること。
● 小数の計算処理（引き算）を活用して、比べること。

<図形> 全国平均より、下回っている。
○ 立方体の体積を求める公式の理解と立式。
● 立体図形（直方体など）を構成する面や辺の要素に着目して性質を捉えること。

<測定> 全国平均と同程度。
○ 体積の概念理解や、図形から必要な長さを読み取って計算すること。

<変化と関係> 全国平均より、下回っている。
● 百分率（割合）を基に全体の数量を求めることや、単位量当たりの大きさを比べること。

<データの活用> 全国平均より、下回っている。
○ 二次元の表や帯グラフから必要な情報を読み取ること。
● データの集計の誤りを見つけ、その根拠を筋道立てて説明すること。

（2）今後の取り組み

・40 分授業の中で、単元を見通した問題解決的な授業を展開し、「なぜその式になるのか」「どう考えたか」を図・数・言葉を用いて友達同士で説明し合う数学的言語活動を充実させます。
・「こほくタイム（20 分）」において、計算の基礎スキルアップ演習を行うとともに、児童自身が自分の定着度に応じて教材（紙のドリル、デジタルドリル、教科書の練習問題など）を選択して取り組む「自立的な学習習慣（自己調整力）」を育てます。
・放課後学習室など地域の支援も生かしながら、つまずきが見られる児童への個別フォローを丁寧に行います。

■ 児童質問紙【本校の特徴的な項目と家庭へのお願い】

1. 規範意識と温かい友達関係（強み）

「いじめはどんな理由があってもいけない」「友達関係に満足している」と回答した割合が高く、互いを尊重する温かい学級の雰囲気が形成されています。

2. 記述式問題への挑戦意欲

「考えを文章で書く問題」に対して、途中で諦めてしまったり難しさを感じたりした児童が全国よりやや多い傾向が見られました。日々のスモールステップの指導で「書けた！」という自信を育んでいきます。

3. 授業での ICT 活用

端末を用いた発表や情報整理への自信に課題が見られました。各教科の単元のまとめ等において、無理のないペースで発表スライドの作成や思考ツールの活用を位置付けていきます。

4. 生活習慣とメディア利用時間（家庭へのお願い）

平日に４時間以上スマートフォン・ゲーム・動画視聴等を利用している児童が全国平均より多く、家庭学習時間（１時間未満）への影響が懸念されます。「学校だより」や懇談会等でも情報共有を行ってまいりますので、ご家庭でも夜間の利用ルールや睡眠時間の確保について、ぜひ話題にしてみてください。